

中国進出企業のための PL(製造物責任)グローバル戦略(Ⅲ)

by 特定非営利活動法人 セフティマネジメント協会 専務理事 出崎 克

PL対策の第一歩は先ずPL保険の 加入から

個人であれ、企業であれ、例えば自動車を購入し使用する場合に、どんなに心がけていても事故は起きる可能性があります。事故が起きた場合には、対人なのか対物なのかは別として、いくら費用がかかるか予測もつきません。したがって、まず自動車保険に加入されると思います。

PLリスクについても全く同じことが言えます。製品が流通におかれた後は、誰がどのような用途で、どのような使い方をするか、全てを把握することはできません。どんなに安全性を追求した製品であっても事故は起こり得ます。更に中国において最も注意を要することは模造品です。ニセモノと知らずに買った製品が原因で事故が起きた場合でも、ユーザーは先ずブランドメーカーを訴えます。その対策としては、積極的な防衛体制と資金確保を目的として先ずPL保険に加入することが最優先です。

以下中国国内のPL保険の概要を紹介します。

Ⅰ 中国国内PL保険の内容

- ① 保険契約者 中国進出日系企業
- ② 被保険者 中国進出日系企業
- ③ 保険期間 1年
- ④ 保険責任 事故発生ベース
- ⑤ 保険適用地域 中国国内
(香港、マカオ、台湾を除く)

⑥ 対象となる製品および仕事の範囲

- (1) 被保険者により製造、販売された製品および関連製品・付属品のすべて
- * 自社ブランド製品、相手先ブランドによるOEM製品を含む
- (2) 被保険者の次の作業のすべて(個別対応)
- ① 据付、メンテナンス(調整、仕様変更を含む)
- ② その他簡単な組立作業

⑦ 保険金が支払われる事故および支払われる保険金の内容

- (1) 支払われる事故
 - ① 対象製品に起因して国内で発生した偶然な事故
 - ② 対象作業の結果として国内で発生した偶然な事故(個別対応)
- (2) 支払われる主な保険金の内容
 - ① 被害者に支払われる損害賠償金
 - ② 訴訟解決のための費用

⑧ 保険金が支払われない主な場合

- (1) 故意、法令違反に起因する損害
- (2) 被保険者の従業員が業務中に被った身体障害に対する賠償責任



⑨ 保険料の算出

- (3) 製品の故障、不調、不具合等により物理的な損害が発生していない場合の財物の使用不能に起因する賠償責任
- (4) リコール措置(回収・交換・検査・修理等)に要した費用およびこれらに起因する賠償責任
- (5) 契約により加重された賠償責任、懲罰的賠償責任、罰金、違約金など
- (6) 原子力事故およびアスベスト事故に起因する賠償責任
- (7) 汚染物質の排水、流失、漏出等に起因し、または寡占物質の取り扱いに関連して発生した事故に起因する賠償責任
- (8) 直接または間接を問わず地震に伴って生じた損害に起因する賠償責任

契約時直近の把握可能な決算(会計)年度における売上高

【保険料例】お支払い限度額および保険料(ご契約プラン)

* CSL(対物・対人共通の1事故および保険期間通算限度額)

* 自己負担額ナシ

I型 CSL1000万円

II型 CSL2000万円

III型 CSL5000万円

■ 売上高 30000万円 生活用品製造

I型 約1万円

■ 売上高 77000万円 玩具・遊具製造

II型 約6.3万円



別表(1) 損害保険会社保険料収入状況表

2005年1-12月

単位: 元

資本構成	会社名称	合計
中国資本	①人保股份(PICC)	6,593,644.61
	②太保財(太平洋グループ)	1,444,037.44
	③平安財(平安グループ)	1,267,451.50
	④中华联合(中華連合)	1,039,821.52
	⑤天安(天安)	635,071.50
	⑥大地财产(大地)	381,532.52
	⑦永安(永安)	316,401.10
	⑧出口信用(中国進出口信用保険)	224,108.73
	⑨华安(華安)	212,038.46
	⑩太平保險(太平グループ)	139,174.89
	⑪华泰(華泰グループ)	117,679.44
	⑫大众(大衆)	107,002.79
	⑬安邦(安邦)	100,101.25
	⑭阳光农业(陽光農業)	22,840.13
	⑮永誠(永誠)	13,364.05
	小計	12,614,269.93
外 資	①美亚(米 AIG)	56,790.63
	②民安(香港 民安)	23,738.33
	③東京海上	23,678.41
	④日本三井住友海上	15,582.60
	⑤三星(韓サムソン)	11,490.40
	⑥皇家太阳(英 royalsunalliance)	7,172.98
	⑦安联(独 ALLIANZ)	7,054.05
	⑧中銀保險(香港 中国銀行損保)	6,201.33
	⑨日本财产(損保ジャパン)	5,979.35
	⑩丰泰(スイス winterthur)	5,740.64
	小計	163,428.72
	合計	12,777,698.65

出典:中国保険監督管理委員会

リスク対策は万全ですか？

株式会社キャプテン

代表者：出崎 克

所在地：〒104-0033
東京都中央区新川1-3-2
ギンザビル3階
TEL 03-3206-1431
FAX 03-3206-1433

設立：1986(昭和61)年4月17日

<http://www.captain-inc.com/>

個人向けも含め保険の
総合コンシェルジュサービスを
ご提供しています。

中国においても世界各国同様付保
規制の法律があり、注意が必要です。

付保規制

△別表(1)：損害保険会社保険料収
入状況表2005年一部抜粋参照▽

1979年の改革開放政策以来、中国保険産業は急激な発展を遂げており
ます。2004年の損保市場は10年
で5倍以上の約1,110億元の市場
規模となり、更に成果が続いています。
保険会社数(中国資本のみ)は損保26
社、生保29社、計55社で、外資企業
の参入も活発であり、PICCを中心
として寡占状態は徐々に変化してきて
います。

2 中国保険業界の現状